

ドキュメンタリーシリーズ

土の魂

Espíritus de Barro

土は、
いのちをつなぐ。

第33回 東大寺福祉事業団 こども作品展・チャリティー作品展

「土の魂」 特別上映会

ESPÍRITUS DE BARRO

2026年11月7日(土)

12:00 受付開始

12:30 開会

「土の魂」特別上映会を開催

東大寺総合文化センター 金鐘ホール

〒630-8211 奈良県奈良市雑司町 406-1 (東大寺境内)

「土の魂」特別上映会 入場無料

谷井 芳山 (Hozan Tanii) 出演 第2話・第3話

第33回 こども作品展・チャリティー作品展

会場：東大寺総合文化センター

小ホール・金鐘ホール・会議室B

協力 社会福祉法人 東大寺福祉事業団

東大寺福祉療育病院

お問い合わせ TEL 0742-22-5577 FAX 0742-23-0198

WEB twf.or.jp

谷井氏紹介



谷井 芳山
Hozan Tanii

陶芸に携わること55年。学齢期、東大寺整枝園で、芳山の名付け親でもある今は亡き、東大寺第215世別当、上司永慶師に薫陶を受け、楽焼を教わった体験を原点に、陶芸の道へ。以降東大寺とのご縁を大切に、当チャリティー展にも毎年作品を寄進している谷井芳山氏。

CNTV (チリ国家テレビ評議会) の支援、GUAIRAO プロダクション監督 Francisco Rios Anderson 氏制作のもと、数年の歳月をかけて完成した「土の魂」を特別上映します。第二話、第三話、土と炎に向き合い続ける谷井氏の生き様をご覧ください。

制作

GUAIRAO
producciones

制作資金

CNTV

後援



土の魂

全5話の物語



第1話
人工の石



第2話
火の伝統



第3話
大地の痕跡



第4話
土の音



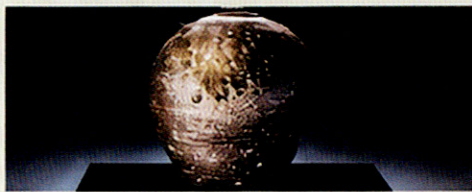
第5話
何百万年の時

谷井 芳山 (Hozan Tanii)

略歴

18歳で大阪芸術大学工芸科、陶芸専攻に進み、本格的に陶芸を学び始める。卒業後、信楽の地で作陶の道を歩み、2026年に陶芸の道55年目を迎える。幼少期と学齢期では東大寺整肢園で右下肢小児麻痺の治療とリハビリを受け、中学生の折、東大寺整肢園内での楽焼体験が陶芸家を志す大きな原点となった。現在は信楽、谷寛窯3代目を継承し、信楽の土と炎から生まれる作品を国内外へ発信してる。

芳山 代表作品



信楽・焼締大壺



氷雪白・土瓶

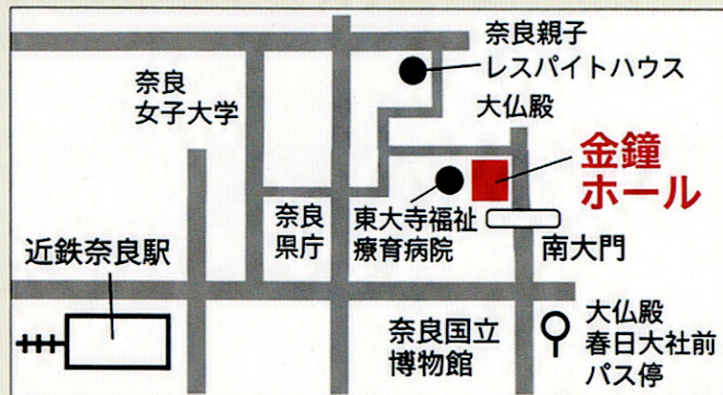


雪中華・鉢

上映タイムスケジュール

12:30 - 12:45	開会挨拶
12:50 - 13:20	第一話
13:20 - 13:50	第二話
13:50 - 14:20	第三話
14:20 - 14:30	休憩
14:30 - 15:00	第四話
15:00 - 15:30	第五話
15:30	閉会

金鐘ホール 会場案内

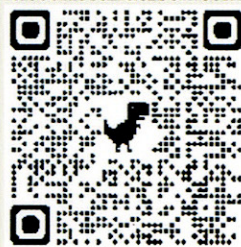


監督 Francisco Rios Anderson



「土の魂」の監督。映像作家、デザイナー、ビジュアルアーティストとして、調査・観察・創作ドキュメンタリーの領域を横断して活動。自然なカメラワーク、編集、演出を通して、個と集団、古と現代が交差する作品世界を描いている。

<https://www.franciscoriosanderson.com/es...>



制作 Guairaoプロダクション

協力 社会福祉法人 東大寺福祉事業団・東大寺福祉療育病院

お問い合わせ TEL 0742-22-5577 FAX 0742-23-0198 WEB twf.or.jp